都道府県が設定している要防除水準（水稲病害）

（2025年度調べ）

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
水稲	種子伝染性病害虫（いもち病、ばか苗病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、イネシンガレセンチュウ等）	育苗時	−	−	種子消毒時	・種子更新は採種ほ産の購入種子を使用する。 ・種子消毒前に必ず塩水選を行う。 ・温湯消毒、拮抗微生物農薬や化学合成農薬のいずれかによる種子消毒を実施する。 ・前年度の発病の有無にかかわらず必ず行う。	大阪府

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
水稲	いもち病（葉いもち）	止葉始とその１週間後（７月１０日以前は不要）	見歩き調査、１圃場あたり１０ｍずつ４ヶ所	病株１株以上	即時		北海道
水稲	葉いもち病	分けつ初期～分けつ最盛期、幼穂形成期～穂ばらみ期	見取り調査、１ほ場あたり２５株	発病株率５％以上	即時	・基肥のチッソ質肥料を適正に施用する。 ・疎植栽培（５０～６０株／３．３平方メートル）を行う。 ・育苗中に発病した育苗箱からは移植しない。 ・例年発生が見られるほ場ではいもちに適用のある箱施用剤を使用する。（特に、日照不足などで低温が予想される年） ・補植用苗を放置しない。 ・常発地で発生予察調査による発病程度が「少」以上の場合には薬剤による防除を行う。	大阪府
水稲	穂いもち	出穂期～穂ぞろい５～１０日後	見取り調査、１ほ場あたり２５株	発病株率５％以上	即時	・発生予察情報を参考にして、発生が予測される場合には穂肥の施用を控える。	大阪府
水稲	いもち病	育苗～植え付け直後	見取り調査	苗に症状が認められたら	即時	（要防除密度の目安）	兵庫県
水稲	穂いもち	−	本田での見取り調査	葉いもちの病斑数が多く、急性型病斑が見られるなど、穂いもちの多発生が予想される場合	穂ばらみ期後期と穂揃い期に防除	多発生の場合	佐賀県
水稲	穂いもち	−	見取り調査	葉いもちの発生が見られる場合	出穂期に必ず防除	並発生の場合	佐賀県
水稲	葉いもち	−	見取り調査	葉いもちの急性型病斑が見られる場合や、上位葉に病斑が見られる場合	即時		佐賀県
水稲	葉いもち	移植後	見取り調査	病斑初確認	即時		大分県
水稲	葉いもち	７月中旬	見取り調査（１圃場あたり２５株以上調査）	病斑が４～５個／株	即時		大分県
水稲	葉いもち	８月上旬	見取り調査	進行型病斑増加	即時		大分県
水稲	穂いもち	８月上旬	見取り調査	葉いもちの病斑確認	即時		大分県
水稲	穂いもち	穂ばらみ期	見取り調査	葉いもちの病斑を上位葉に多数確認	穂ばらみ期及び穂揃期		大分県

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
水稲	赤色菌核病	成熟期	１０株×５ヶ所	発病度４０または病斑高率３５％以上	翌年に育苗箱施用または水面施用		北海道

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
水稲	紋枯病	成熟期	１０株×５ヶ所	発病度４０または病斑高率３５％以上	翌年に育苗箱施用または水面施用		北海道
水稲	紋枯病	穂ばらみ期～出穂期	畦畔際から５～６歩入り、そこから中央に向かって２５株見取り調査する	発病株率　早生～中生種：１５％・晩生種２０％	出穂期		岩手県

Copyright © 日本植物防疫協会 All Rights Reserved.

水稲	紋枯病	出穂前まで	畦畔際からの見取り調査	（収量が５％以上の減収を想定して防除する場合）発病株率：「ひとめぼれ」１８％、「ササニシキ」１０％、「コシヒカリ」２９％	穂ばらみ期～出穂期（多発が見込まれる場合、穂揃期にも防除する）		宮城県
水稲	紋枯病	出穂前まで	畦畔際からの見取り調査	（収量が３％以上の減収を想定して防除する場合）発病株率：「ひとめぼれ」１２％、「ササニシキ」９％、「コシヒカリ」１８％	穂ばらみ期～出穂期（多発が見込まれる場合、穂揃期にも防除する）		宮城県
水稲	紋枯病	出穂前まで	畦畔際からの見取り調査	（収量が１％以上の減収を想定して防除する場合）発病株率：「ひとめぼれ」１０％、「ササニシキ」３％、「コシヒカリ」１４％	穂ばらみ期～出穂期（多発が見込まれる場合、穂揃期にも防除する）		宮城県
水稲	紋枯病	収穫前	畦畔際からの見取り調査	（次の年の予防薬剤使用の目安）発病株率：４０％	穂ばらみ期～出穂期（多発が見込まれる場合、穂揃期にも防除する）		宮城県
水稲	紋枯病	穂ばらみ期～出穂期	５列×５株＝２５株を調査し、発病株率を算出	発病株率が１５％	出穂直前～穂揃期	茎葉散布剤	秋田県
水稲	紋枯病	出穂期	水田中央部の見取り調査、１筆あたり５条おきに２０株、計１００株調査	はえぬき：発病株率１５％以上・ササニシキ：発病株率１０％以上	即時		山形県
水稲	紋枯病	穂ばらみ後期	水田中央部の見取り調査、１筆あたり５条おきに２０株、計１００株調査	はえぬき：発病株率１０％以上・ササニシキ：発病株率７％以上	即時		山形県
水稲	紋枯病	出穂１０日前～出穂期	見取り調査、１圃場あたり５０株を調査	発病株率２０％	即時		群馬県
稲	紋枯病	幼穂形成期～穂ばらみ期	見取り調査	発病株率１５～２０％	即時		埼玉県
水稲	紋枯病	出穂１５日前頃	見取り調査。１圃場あたり任意の２５株について発病状況を調査	発病株率１５％以上	穂ばらみ後期まで		千葉県
水稲	紋枯病（地域単位）	７月１０日頃	１地域２０圃場、１圃場１００株の発病株率	平均発病株率８％以上：２回散布．平均発病株率８％未満：７月２０日頃の調査実施	穂ばらみ期・穂揃い期	圃場単位の防除要否判断にも活用できる	新潟県
水稲	紋枯病（地域単位）	７月２０日頃	１地域２０圃場、１圃場１００株の発病株率	平均発病株率１０％以上：１回散布．平均発病株率１０％未満：７月末～８月初旬の調査実施	出穂期直前～出穂期	圃場単位の防除要否判断にも活用できる	新潟県
水稲	紋枯病（地域単位）	７月末～８月初旬	１地域２０圃場、１圃場１００株の発病株率	平均発病株率２０％以上：１回散布．平均発病株率２０％未満：防除不要	出穂期～穂揃い期	圃場単位の防除要否判断にも活用できる	新潟県
水稲	紋枯病	穂ばらみ期	見取り調査、１圃場の任意の１００株で発病状況を調査	発病株率　（１）早生：５％（２）中生：１５％	穂ばらみ期		富山県
水稲	紋枯病	７月中旬（早生穂ばらみ期）	発病株率調査、圃場あたり１００株	１０％／１００株	即時		福井県
水稲	紋枯病	７月下旬（中生穂ばらみ期）	発病株率調査、圃場あたり１００株	２０％／１００株	即時		福井県
水稲	紋枯病	穂ばらみ期（普通植栽培）	見取り調査、任意の２５株について発病状況を調査	穂ばらみ期発病株率２０％以上（普通植栽培）	出穂直前または穂揃い期		岐阜県
水稲（極早生、早生品種）	紋枯病	随時	ほ場内の任意の２地点において、畦から１０列目の株を各５０株（計１００株）調査する	発病確認後	即時	（防除要否の目安）	滋賀県
水稲（中生、晩生品種）	紋枯病	出穂２０日前	ほ場内の任意の２地点において、畦から１０列目の株を各５０株（計１００株）調査する	発病株率：１５～２０％以上	即時	（防除要否の目安）	滋賀県
水稲	紋枯病	出穂２０日前頃	見取り調査	発病株率２０％以上	即時		京都府
水稲	紋枯病	７月上旬～９月下旬	見取り調査、１ほ場あたり２５株	発病株率２０％以上	即時	・疎植栽培に努める。・病原菌は菌核の塊で越冬するので、前年度に多発生した場合には稲わらの処理を適正に行う。	大阪府
水稲	紋枯病	穂ばらみ期	見取り調査	発病株率２０％以上	即時	（要防除密度の目安）	兵庫県
水稲（コシヒカリ）	紋枯病	出穂前１５～２０日	１圃場あたり、２５株×２ヶ所の計５０株で調査	発病株率２５％以上	即時		鳥取県
水稲（コシヒカリ）	紋枯病	穂ばらみ期	１圃場あたり、２５株×２ヶ所の計５０株で調査	発病株率１８％以上	即時		鳥取県

Copyright © 日本植物防疫協会 All Rights Reserved.

水稲（コシヒカリ以外の品種）	紋枯病	出穂前２０日	１圃場あたり、２５株×２ヶ所の計５０株で調査	発病株率２０％以上	即時		鳥取県
稲	紋枯病	出穂１０日前および２０日前	１圃場あたり任意の５０株×２ヶ所について発病株率を調査	【普通栽培】（１）出穂２０日前の発病株率：３０％以上（２）出穂１０日前の発病株率：４０％以上	即時		岡山県
稲	紋枯病	出穂１０日前および２０日前	１圃場あたり任意の５０株×２ヶ所について発病株率を調査	【早植栽培】（１）出穂２０日前の発病株率：５～１０％以上（２）出穂１０日前の発病株率：１０～１５％以上	即時		岡山県
水稲	紋枯病	穂ばらみ後期（出穂前１０日から出穂期）	見取り株率：調査ほ場内よりランダムに選んだ２５株の病斑を確認した株数を調査する。	穂ばらみ期の発病株率・早生種：１０％以上・中生種：２０％以上	穂ばらみ後期（出穂前１０日から出穂期）までとする。		広島県
稲	紋枯病	穂ばらみ中期（出穂１４日前頃）	見取り調査	発病株率　１５～２０％以上	穂ばらみ期		山口県
水稲	紋枯病	出穂２０日前	見取り調査	病株率１０～２０％	即時	「普通期栽培」	香川県
水稲	紋枯病	出穂１０日前	見取り調査	病株率２５％	即時	「普通期栽培」	香川県
水稲	紋枯病	普通期栽培の穂ばらみ期	見取り調査　１００株	発病株率　１５～２０％	最高分げつ期～穂揃期		愛媛県
水稲（箱粒剤施用の場合）	紋枯病	出穂期	見取り調査	発病株率が１０％を超え、上位葉への進展が予想される場合	出穂期～出穂１４日後	箱粒剤施用の場合	佐賀県
水稲（箱粒剤無施用の場合）	紋枯病	出穂期	見取り調査	発病株率が１０％を超え、上位葉への進展が予想される場合	出穂期～出穂１４日後	箱粒剤無施用の場合	佐賀県
水稲（箱粒剤無施用の場合）	紋枯病	出穂１４～７日前	見取り調査	発病株が認められる場合	出穂期～出穂１４日後	箱粒剤無施用の場合	佐賀県
水稲（早期）	紋枯病	穂ばらみ期	見取り調査	発病株率２０％	幼穂形成期～出穂期		熊本県
水稲（普通期）	紋枯病	穂ばらみ期	見取り調査	発病株率２０％	穂ばらみ期～出穂期		熊本県
水稲	紋枯病	穂ばらみ期	見取り調査	病斑確認	即時	最低１回散布	大分県
水稲	紋枯病	乳熟期	見取り調査（１圃場あたり２５株以上調査）	発病株率５０％以上で残暑が厳しいと予想される場合	即時		大分県
普通期水稲	紋枯病	穂揃い期～乳熟期	葉鞘部病斑、見取り調査	発病株率４０％以上	即時		鹿児島県
普通期水稲	紋枯病	８月上旬（幼穂形成期初期）	葉鞘部病斑、見取り調査	発病株率２０％以上	即時		鹿児島県

Copyright © 日本植物防疫協会 All Rights Reserved.